



1

2025

社協シンボルマーク
(社の字を図案化したものです)

ぬくもり

第44号

発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

menu

- 会長あいさつ
- 令和6年度
共同募金運動
- 各地区防災組織&防災
訓練
- いきいきサロン
- 知内町身体障害者福祉
協会活動
- ボランティア活動



〔写真：赤い羽根共同募金「涌元小学校 児童会」(学校募金)〕

お年玉は現金ではなく

餅だった!?

お正月の子どもの楽しみと言え
ばもちろん「お年玉」。

昔、お年玉は餅だったそうです。
お正月は神様をお迎えして、お供
え物をして歓迎します。そしてあ
りがたい神様のお供えものを、み
んなで分けていただくのが本来の
お年玉でした。

お年玉の「玉」は二つの意味が
あり、神様の魂の「たま」・神様
からの賜わり物の「たま」。この二
つの年玉だったのが、餅だった訳
です。

それがいつしか今のようにお金
に変わりました。お年玉は目上の
ものが下のものに渡します。だか
ら、子どもにお年玉を渡すのです。
ちなみに目下のものが目上に贈
るのは「年賀」
となります。





新年のご挨拶

社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

会 長 藤 谷 利 弘



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当社会福祉協議会に対しまして、町民皆様の温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

近年、福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や人口減少、社会経済状況の変化に伴い、地域における一人暮らしや夫婦高齢者世帯、寝たきり・認知症など、高齢者や障がい者における生活課題は、さらに複雑化及び多様化しております。また、最近では、物価高・燃料高騰などの影響もあり、私たちの日々の暮らしにも大きな影響が出ています。地域福祉の推進役としての社会福祉協議会は、その解決に向けた具体的な仕組みづくりや支援が求められております。

このような中、共に支え合い、助け合い安心して暮らし続けられることを目指し「我が事」・「丸ごと」地域共生社会の実現に向けて、町内会を中心に地区民生委員や関係機関、団体の協力を得て、「いきいきサロン活動」はじめ「訪問安心見守り活動」や「福祉有償ボランティア活動」など各種支え合い活動を展開しているところです。

さて、昨年全国各地で地球温暖化の影響による

と思われる猛暑や大雨災害など異常気象による災害が頻発し甚大な被害が発生しております。

昨年1月には、能登半島地震により、石川県能登地方周辺で大きな被害が発生したところですが、北海道でも日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震の発生が予想されているところであり、被害想定は、衝撃的なものになると言われております。当社協としても、現在展開している「自主防災活動」において、各町内会がこれまで実施してきた避難訓練や避難所の運営等々について、さらに町や各町内会と連携し、積極的に支援して参ります。

また、私たちの日常生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスも5類に移行され、インフルエンザと同様になりましたが、移行後も新型コロナウイルスが無くなるわけではなく、感染者については、現在も増えたり減ったりを繰り返しています。これまで同様に感染防止対策を心がけていかなければならないと思います。

今後とも地域福祉の推進の為、町民の皆様に理解され支持されるよう役職員一丸となって努力してまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶と致します。

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます



会 長
副 会 長
理 事

監 事
評 議 員

事務局長

藤谷 利弘
田中 雄二
一戸 峯子
手塚 守
木村 和義
伊藤 孝
手塚 恵一
橋本 政勝
村上 義久
職員一同

佐藤 元
大野 泰
吉田 成三
宮崎 豊勝
岡田 敬司
手塚 春美
花井 泰子

小林 敬子
小向美千代
佐藤 暁樹
櫻庭 更生
中川 豊彦
前川 愛子

島田 重子
仲上 絢子
松山 和史

杉本 真弓
西山大太郎
村上 祐子

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。

10月1日から全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご理解とご協力により、たくさんの募金が寄せられ誠にありがとうございました。

お寄せいただきました募金は、一旦、北海道共同募金会に送られ、令和7年度における当町の地域福祉事業や福祉団体などに約7割が役立てられ、次年度の募金事務費を除いた、残りの約2割は北海道内の広域的な課題を解決するほか、災害時の備えのために使われます。

募金総額 1,118,485 円

町内会各戸募金額

(単位:円)

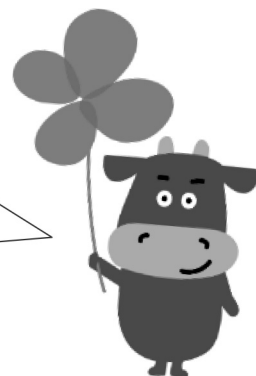
町内会名	世帯数	募金額	町内会名	世帯数	募金額
中ノ川	67	53,000	涌元谷地	57	45,600
森越	110	89,000	はまなす	52	38,900
渡島知内	125	89,140	涌元	160	126,100
きらく	108	74,251	小谷石	39	38,500
重内	81	74,410	小計	1,164	933,649
湯ノ里	135	103,097	学校	1	2,073
上雷	39	38,500	企業	31	141,500
元町	144	121,351	募金箱他	7	33,752
前浜	47	41,800	合計	1,203	1,118,485

(令和6年12月11日現在)



涌元小学校 児童会

心温まるたくさんの募金にご協力いただき、ありがとうございました。



各地区防災組織&防災訓練

近年、全国各地で自然災害が多発しております。日頃から防災意識を高めるため、全13町内会に自主組織が立ち上がり、防災避難訓練、炊き出し訓練、ハザードマップ等を活用し、避難経路や避難所の運営などの活動を実施しています。



「森越町内会」避難訓練の様子

いきいきサロン

高齢者等の地域との交わりや閉じこもりを防止等を狙いとしてサロンスタッフが中心となり町内会館等で開催しています。地区によりさまざまですが、参加対象者が気軽に参加できるよう支援して参ります。



いきいきサロン「おもない」

ボランティア活動

「知内町婦人赤十字奉仕団」主催のボランティア活動による海浜清掃が令和6年9月29日知内高校裏海岸から渡島知内海岸にかけて行われました。当日は町民約140名の参加と建設協会の重機協力により、たくさんのゴミを集めきれいになりました。



海浜清掃に取り組むボランティアのみなさん

知内町身体障害者福祉協会活動

当協会では、交通安全マスコット作りやスポーツ大会、視察研修などの活動を行っております。今回は、「押し花教室」を開催し、できあがった作品は、町民文化祭に展示しました。



会員による押し花教室の開催

社協だより「ぬくもり」 令和7年1月号 発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

〒049-1103 上磯郡知内町字重内21-1 知内町民センター内

TEL (01392) 5-4071 FAX (01392) 5-7441